

## 1. セッション名

日本の国際宇宙探査シナリオ(案)2021

## 2. オーガナイザ氏名、所属

代表	氏名	所属
	佐藤直樹	JAXA 国際宇宙探査センター

## 3. 概要

- 月・火星の有人探査に向けた計画が加速されつつある。国際的な枠組みである International Space Exploration Coordination Group(ISECG)は 2020 年に有人月面探査シナリオを作成・公開した。また NASA は政権交代後もアルテミス計画を継続して推進している。
- 日本でも政策として国際宇宙探査の推進とアルテミス計画への参加を決め、具体的な参加計画の議論を進めている。
- JAXA では、日本の国際宇宙探査シナリオ(案)の検討を継続して行っており、2016 年に初版、2019 年に改訂版を作成し、政策議論やステークホルダとの対話における JAXA 提案や、システム検討や要素技術研究におけるベースラインとして使用してきた。
- 2019 年版の公開以降 2 年たち、そのあいだの国際宇宙探査における様々な変化に対応するために、JAXA では 2021 年版として更新を行った。
- 今後はこの 2021 年版を政策議論やステークホルダの対話に向けての JAXA 案、およびシステム検討や要素技術研究のベースラインとして使用していく予定であり、この OS の機会でその内容を紹介し、広くステークホルダへの周知を図る。
- 2021 年版の主な更新ポイントは下記の通り。
  - 測位・通信に関するアーキテクチャ検討を再整理
  - サイエンスロードマップの最新化
  - 月面環境条件分析の詳細化とデータ取得計画検討
  - アルテミス計画への日本の貢献案の最新状況取り込み